

岡山市地域ケア総合推進センターの主な役割

岡山市地域ケア総合推進センターとは

岡山市では、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを目指して、地域医療・介護の連携を強化し、広めるための取り組みをしてきました。

この岡山市地域ケア総合推進センターは、岡山市の地域医療・介護の推進と、市民の皆様の療養生活を支援するための中核拠点として整備されました。

主な業務としては、①【総合相談（ほっ♡と安心相談室）】、②【在宅医療推進・医療と介護の連携強化】、③【地域包括支援センターの医療連携・認知症支援（平成27年5月より）】の3つを柱に、医療面から地域包括ケアを支える拠点として活動を展開していきます。

① 総合相談（ほっ♡と安心相談室）

保健・医療・福祉・介護サービスの総合相談・情報提供窓口

寝たきりの
おばあちゃんが
退院してくるけど、
どうしたらいい？

在宅医療や
介護のことを
知りたい



市民

病院以外の場所
(自宅や施設)で
療養したい

がんの治療や
生活面の不安を
聞いてほしい

医療依存度が高い
利用者のケアマネジメント
について相談をしたい

訪問をしてくれる
先生を探したい



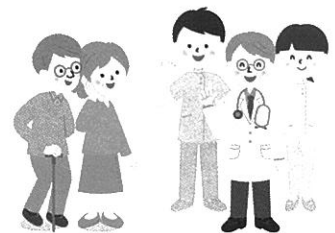
療養困難が
予測される患者の
退院支援に
困っている

医療・介護専門職

② 在宅医療の推進、医療と介護の連携強化

医療と介護が連携した包括的かつ継続的な医療の提供を目指します

- 在宅医療・介護に係る多職種ネットワークを強化する仕組みづくり
- 在宅療養を支える専門職の資質向上、人材育成の研修会開催
- 上手な医療のかかり方や在宅医療・看取りについて、市民向けの講座・研修会等の開催
- 地域の医療・介護資源の情報収集と情報提供のための仕組みづくり
- 在宅療養での容態悪化時のスムーズな入院や一時的な施設利用の仕組みづくり



③ 地域包括支援センターの活動支援・認知症ケアの推進（平成27年5月より稼働）

- 地域包括支援センターと共に認知症の困難事例の対応をします（基幹型認知症支援チームの設置）
- ケアマネジャーや地域包括支援センターに、多職種連携機能を生かした相談支援を行います。